

きらめき通信

安宅中学校3年
学年通信
No.8
2023.9.26

全力を出し切った運動会！

9月14日（木）に運動会が行われました。スローガン”Little Bravers 今ぶつかる安宅の闘志”の下、赤団・青団の熱い闘いが繰り広げられました。両団ともに各競技やパフォーマンスで団結力を発揮することができましたね。みなさんが勝利に向かって全力を尽くす姿や全力で仲間を応援する姿は、見ている人に多くの感動を与えてくれました。みなさんの振り返りを紹介します。

1組 「3-1のみんなに助けもらった」

僕は中学校で最後の運動会で団長をしました。自分はみんなを引っばる立場に慣れていませんでした。だから、前に出て話したり指示したりするのがすごく苦手でした。最初は3-1だけで練習するだけでした。しかし団が決まり団活が始まると1~3年生の赤団での練習になりました。その日の練習は何をするか、1年、2年、3年それぞれへの指示、練習終わりの一言、それらすべてが1~3年生相手にしゃべらなければなりませんでした。何をどう説明するか分からず、もじもじすることがほとんどでした。しかし何回かやっていくうちにみんなの前で指示したり一言を言ったりするのになれてきました。それは、副団長やダンスリーダーの4人と3-1のみんながいたからだとおもいます。ダンスの最初の「みんなー」のかけ声もさんとさんがしてくれたからだと思います。赤団の紹介文もさんが手伝ってくれたからすごく良い文ができたと思います。他にもいろいろところで3-1のみんなに助けもらったと思います。結果は負けでした。それでも悔しいという感情より楽しかったという感情の方が大きかったです。中学校最後の運動会がこんなに楽しいものにできてすごくうれしかったです。



2組 「運動会で学んだこと」

運動会が終わって、まずは優勝できたことが嬉しいと感じた。最初から最後まで青団のみんなが笑顔で楽しんで、「楽勝必笑」のスローガン通りだと思った。中学校では最後の運動会で、どんなものになるのか不安で、自分が指示できるのかと心配だったけど、団役員だけでなく友達や後輩など色々な人に支えてもらったおかげで、良い運動会にすることができた。

運動会に向けての練習期間では、ダンスの振り付けを教えることができるように頑張っって何度も練習して覚えた。自分なりにやりやすいように工夫して、教えるときはわかりやすくするために自分だったらこうしてほしいかな、と考えて一生懸命教えたし、みんなが「楽しい」と言ってくれて嬉しかった。振り付けを考えるとダンスを運動会以外でやったことがなくて0から1を作ることは大変だと感じた。本番では少し失敗したときがあって悔しかった。いつでも思った通りには進まないということを運動会を通じて実感した。いつも教えてもらう立場にいたけど教える側に立ってみて、聞く態度をもっと良い方向に変えていこうと思った。また、どんなときでも相手の立場に立って自分はどうか考えることが大切なんだと思った。

この後の文化祭や卒業式などに向けて、運動会で学んだことや経験などを活かして、周りから信頼されるように自分で状況をより良くできるようにしていきたいと思った。そして、そこで学んだことを次の機会に活かしていけるようにしっかり覚えておこうと思った。

